



高原の自然館ニュースレター

苜尾電波塔

第 25 号

2006.1.1

高原の自然館

苜尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつかっています。

も く じ

おしらせ

- ごあいさつ
- 『苜尾 第 15 号』原稿募集

読者サロン

- テーマトーク
「2006 年はこれをやりたい！あれを見たい！」

観察会案内

- アニマルトラッキング
- スノートレッキング

お し ら せ

ごあいさつ (2006.1.1)

昨年は西中国山地自然史研究会・高原の自然館の活動にご協力いただきありがとうございます。2006 年も引き続き、よろしくおねがいします。

『苜尾 第 15 号』の原稿を募集しています

(2006.1.1)

西中国山地自然史研究会の『苜尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600 字程度にまとめてください。写真を大歓迎します。あなたの見つけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

読者サロン

テーマトーク

2006年はこれをやりたい！あれを見たい！

●2006年は芸北で見られる鳥の名前を覚えたいです。苧尾に登って、鳥の鳴き声がするのになにが鳴いているのか分からない。もしこれが分かったら、もっと楽しい時間を過ごせるのではないかと思いつつ、2005年も終わってしまいました。2006年は鳥の名前と鳴き声を覚えて、上野先生の世界に一步近づきたいと思います。(さくまともこ)

●とにかく、健康第一。自己管理をしっかりして、仕事にもその他請け負った役をきちんとこなし、ストレスを溜めないよう趣味もしっかり充実させて……。あっ、ウリノキの花がみたいな。取りあえずそんなところで。(柳崎)

●今年は暖かい時にキャンプに行きたいと思います。昨年も、近場から、と思っていたのですが、時間がなかなか取れませんでした。今年はなんとかチャレンジしてみたいです。

「これを見たい！」は、山に咲いている花々です。できたら、少し高い山に登ってみたい……。と、密かに思っています。そのための準備はまだですが。(藤原)

●2006年にしたいこと！う～ん色々考えたんですが、やっぱりコレ“八幡を知る”こと。人・文化・植物・山・少しでも知識を増やし、できるだけフィールドへ出たいです。そして八幡で出会う様々なひとと“つながる”ことができればいいなあと思います。(河野)

●去年は一年を通して「草地」に力を注いだような気がするので、今年はもう少し「湿地」に戻ってこようかと思っています。もちろん、雲月の山焼きも千町原の草刈りも続けてお手伝いしたいと思っています。これじゃあ雪だるま式に増えちゃいますね。見たい物は……。12月の雪が多かったので、その影響を探しながら歩いてみたいです。それから、ツキヨタケを見に行きたいなあ。(しらかわ)

観察会案内

アニマルトラッキング

開催日時：2006年1月29日(日)10:00
集合場所：高原の自然館
講師：畑瀬淳
準備：長靴、(あれば)かんじき、弁当、ルーペ、メモ、おやつ等
定員数：30名
参加料：300円(自然史研究会会員は100円)

自然館が冬の閉館になってからのオタノシミ！今年も雪の上を歩きながら、動物の痕跡(トラック)を観察しましょうスノーシューのレンタルや民宿等、ご相談下さい。

スノートレッキング

開催日時：2006年2月19日(日)・3月12日(日)
9:30
集合場所：高原の自然館
準備：長靴、(あれば)かんじき、弁当、ルーペ、メモ、おやつ等
参加料：300円(自然史研究会会員は100円)

雪の上を歩いてみませんか？今回は「ただ雪の上を歩いてみよう」という企画です。雪の原をみんなで歩けば、いろんなものが見えてくるはず。スノーシューで、クロスカントリースキーで、一緒に歩いてみませんか？スノーシューのレンタルや民宿等、ご相談下さい。

自然館の屋根瓦が割れました。それを確認した帰りに、雪の重みで潰れている廃屋を見ました。一面雪に覆われた田んぼを痩せこけたキツネが歩いていました。八幡の地形ができてからの長い年月、この冬のような厳しい冬は何度もやってきたはずで、その厳しさを乗り越えた生き物や人間が、今の八幡の自然と文化を作っている。そんな想像をしながら、昨年撮った花や田園風景の写真を眺めると、また別の表情に見えてきました。春はもう少し先ですね。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/> staff@shizenkan.info
冬季連絡先 : 0826-35-0070 (芸北文化ホール)